

町の取組や出来事を紹介！

みやきプレミアム

No.4



みやき式 組織論

町長 岡 毅

毎年のごとですが、どの行政機関でも4月1日付けで人事異動が発令されます。人事異動の案を考える際のポイントは様々です。

職員の能力を更に発揮させるには？もっと様々な経験を積ませるには？担当課の業務量に対して人員数は不足していないか？
…などなど。

しかし、それらを超越して、私が最も重要視したいメインテーマがあります。それは「組織の自主性」です。みやき町役場には、約250名の正規職員がいます。これらの職員が各セクションにおいて、「みやき町のためには何が必要なのか？」「この業務は本当に効果が出ているのか？」などと自発的に問いかけ、改善に取り組むには、どのような人事の組み合わせであるべきかに主眼を置いて、人事異動を考えるようにしています。みやき町役場は、部長級、課長級だけでなく全職員が「みやき町のため」という目的を違えずに各専門分野で知恵を出し合う組織であるべきです。

人事異動以外にも、例えば給与や人事評価の在り方は、職員のモチベーションを高めるためのツール(手段)になります。優秀であれば、重要なポストでの業務が可能となり、責任と権限をもって手腕を振るうことができる。

これらのことは、当たり前と言えば当たり前前の組織論でしょう。しかし、それが本当にできている組織、本当にできる環境が整った組織は、意外と少ないと思います。私は、この当たり前をしっかり現実し、職員が笑顔で自信をもって町民の方々と接することができることを信じて、日々努力をしていく所存です。